

俳句

朝顔の青の様々咲きにけり
中野 千賀子

再生の理学療法青蜥蜴
今瀬 多代美

植木鉢ちよろりちよろりと蛸蛸でて
綿引 英子

耕せば小鳥ら集ひ来たりけり
飯田 勇一

巻き寿司の芯なり胡瓜うすみどり
竹内 幸子

早起きにまさる涼しさをかりけり
田口 勝元

文芸しろさと

短歌

ゲートボール上手いとほめるに
まぐれだと友は謙遜遊技は進む
杉山 みちこ

選ばれて伐られず残るいちよう
樹を囲むがに生ふふきの群生
大森 久子

名も知らぬ小さき雑草にも花は
咲き実生の種子を数多つけるる
佐川 あや

テレビにて「ころのうた」を聞く
たびにその唄やかさに心和みぬ
所 美恵子

気に入りのこの一着の更衣
寺門 孝子



川柳

世の中を一変させたコロナ菌
富田 多蔵

我が町へやっぱり来たかコロナ旋風
車田 綾子

今日は暑い「がんばるな」草刈り機
飯村 孝一



十九年共に生き来て猫逝きぬ
沙羅双樹の花しき散る朝に
渡辺 千紗子

宝とも思ふ一つに亡き夫のこ
まごま書きしおぼえ書き手帳
山形 式妙

今日も雨何時迄続く長き梅
雨何時まで続く新型コロナ
信田 育子

庭木々に鳩のしきりに啼く朝
よ亡き人を呼ぶか山法師咲く
富田 佐智子

在りし日の夫と訪ねし山百
合の里は今頃咲き香るらむ
萩谷 登喜子

今日も医者同じ仲間が座って
るお喋りもまた治療のひとつ
富田 欽子

人類の最大の敵コロナ菌ほ
ろぼし勝てり世界の願い
矢次 洋平



しろさとまち通信

—城里町地域おこし協力隊— Vol.53

城里町地域おこし協力隊の連載、9月号は坂本裕二が担当します！



▲文化デザイナー学院の学生たちとフィールドワークの様子

まちづくり戦略課地域おこし協力隊2年目の今年は、新型コロナウイルスの影響で大規模なイベントが企画できず、プロジェクトの進行が主な活動になっていきます。そこで、現在進めているプロジェクトを紹介いたします。一つ目は、徳川光圀が愛飲し名付けたとされるお茶を復活させる「初音茶再生プロジェクト」です。お茶の定植から3年、今年初の試飲会を開くことができました。来年は、生産者や関係者の方と一緒に、幻のお茶「初音茶」が地域活性化につながる企画を進めていきます。二つ目は、アーティストが空き家を活用し、地域と触れ合いながら制作活動を行なう「アーティストハウスプロジェクト」です。下古内地区の空き家には、流木アーティストの桐原翔太さんが移住し、制作された「青いベンチ」は7月に町民ホールに展示されました。現在は、

スタジイ広場に設置してありますので、自由に座ったり、触ったりしてみてください。その他にも、藤井川ダムカレィやまちやレノアを生み出した県立水戸桜ノ牧高等学校常北水戸常磐大学、町の3者が連携して地域の活性化を考え「高大官連携事業」や、水戸ホーリーホックが活躍する「アツマーレ」のさらなる活用の準備、8月からは文化デザイナー学院(水戸市)の学生が、古内茶をテーマにしたデザインプレゼンを行う企画も始まりました。新型コロナウイルスの影響で落ち込む今、たくさんの方が楽しめる企画を考え、城里町を盛り上げていきます。また、地域おこし協力隊のホームページが8月に完成しました。日々の活動やイベントの案内など、城里町の情報を発信していきますので、どうぞご覧ください。



◀地域おこし協力隊ホームページ

https://shirosato-okoshi.com

問合せ

まちづくり戦略課
☎029-288-3111
(内線228)